

卒業生からの一〇周年記念メッセージ

徳重 美穂さん（FM多摩パーソナリティー、政治学科第1期生）



私は、大学は、遊びに行く所だと思っていました。しかし、そこで出会った友人は、政治学を学ぶために、政治学科だけを選んで受験してきた人も多く、日常会話に、民主主義、社会主義という言葉が出てくるんです。私の知らない世界の話が、目の前でくり広げられるのに困惑しましたが、その話にどうにか入りたくて、読んだことのない新聞を読み、TVのドキュメント番組を見てと、私の中で、急激な意識変化が起こりました。今まで、明日遊びに行く場所、着る服、男の子の事位にしか興味がなかった私を、日本そして海外、過去へ未来へと目を向けてくれたのは、そうした友人との出会いでした。

そのうち、小さな子が少しずつ言葉を発する様に、少しずつ政治的な事、歴史的な事について、自分の考えが言える様になると、そのつたない考えを一生懸命聞いて下さる教授が、ここにはたくさんいらっしゃいます。今思うと、その時からだったと思います。自分の思いを人に伝えるのが楽しいと思い始めたのは…。

とは言っても私は、大学の在学中からパーソナリティーを目指していた訳ではありません。私にとって大学の4年間は、とにかく自分探しの4年間でした。いろんな経験を通じて、迷い、楽しんだ4年間。その結果たどりついたのが、この仕事だった訳ですが、仕事で必要な好奇心、行動力等、全ては、大学の4年間で身につけた様な気がします。

私の友人が、「大学の4年間は、人生の夏休みだ。」と言っていました。「この夏休みを有意義に過ごしてこそ、充実した実りの秋が迎えられるのだと。」皆さん、在学中、多くの人との出会いを大切にして、実りある4年間を過ごして下さい。さうすれば、自然と自分が進むべき道が見えてくるのではないのでしょうか。皆さんのご活躍を期待しています。

フレ！、フレ！、 大東大生！！